

陸上・田中希実 プロ転向

西脇工高出身、ニューバランス所属に

2021年の東京五輪陸上女子1500メートルで日本人初の8位入賞を果たした田中希実(23)は西脇工高出身。3日、新たにスポーツ用品メーカー「ニューバランス」に所属し、プロへ転向すると発表した。東京都内で会見し、「世界のトップで戦いたい。努力する中で、いろんな人や社会に影響を与えられる選手になりたい」と新天地での決意を語った。

19面(1)問一答

小野市出身の田中は、1000メートルと1500メートル、3000メートルの本記録を持つ。東京五輪では1500メートルと5000メートルに出場し、1500メートル準決勝で3分59秒19の日本新記録を樹立。昨夏の世界選手権では、800メートルも含め3種目に挑んだ。今年3月末で実業団の豊田自動織機を退社していた。

プロ転向の経緯について「がむしゃらさやハングリー精神が失われてきているように感じていた」と明かし、「積み重なった自分自身へのフラストレーションが爆発した」と表現。世界を舞台に戦うために「より強い思いと確かな取り組み、そこに対するプロ意識が必要」と決断したという。

今後、国内では地元・兵庫を拠点とし、海外でのトレーニングも増やしたい考え。「これまでの自分や多くの方の思いに報いられるよう、より飛躍した成績を残したい」と力を込めた。(長江優味)



会見でプロ転向への思いを語る田中希実＝3日午前、東京都千代田区神田神保町1

次の2つの記事の田中希実さんのコメントから見出しを考えましょう。

①の見出しは本人のコメントから11字で抜き出しましょう。

「

」

①

走ることが大好きだから、挑戦への思いは尽きることがない。3日、ニューバランスを新たな所属先とし、プロ転向を発表した日本の陸上女子中長距離の第一人者、田中希実(23)＝西脇工高出身。会見では世界へ挑む中で、苦悩の日々を経て、新たな環境に身を置く覚悟を語った。主な一問一答は次の通り。(26面参照)

田中希実プロ転向 一問一答



ニューバランスのシューズを手に、笑顔で写真撮影に応じる田中希実。3日午前東京都千代田区

―決断の経緯は。
「積み重なった自分自身へ、感じていた。『やりたい』のプラストレーションが爆発した。与えられた環境や自分の甘えが目立つレースが増え、がむしゃらさやハングリ

―「期待に応えないといけない」という思いが強くなり、かっこよく走ろうとすることが多かった。自分が『こうありたい』と思うと、『コミットしてがむしゃらに取り組み、かっこ悪くてもプロだと

―「きつい練習も、挑戦するイベントのように取り組む姿が印象的だった。自分の居場所をつくるという意識で取り組んだ。『そこがハングリ―精神だ』と、振り返って気が付いた。今後も一緒に練習する機会を増やしたい」
―「プロという肩書について、今後の目標は。『世界のトップで戦いたい』というのが、一番の目標。努力する中で、陸上に限らずいろんな人や社会に影響を与えたい。社会全体の目に留まる選手になりたい」

―「精神的に失われてきている」と感じていた。『やりたい』という思いを持たないと、根っこから自分の居場所をつくり直そうと。強い思いと確かな取組みへのプロ意識が大事に

②の見出しとして、25字くらいで本人のコメントをまとめましょう。

田中希実さんの2つの記事を読んで、心に残ったことを40字くらいでまとめましょう。

なまえ【 】

NI Eワークシート / 小学校高学年～高校